

上部消化管内視鏡検査の説明・問診及び同意書

上部消化管内視鏡検査とは

食道・胃十二指腸を直接内視鏡で観察して診断を行う方法です
もしも消化管からの出血が見つければ、引き続き止血を行うことができます

検査方法・手順

- 1) 胃の中を見やすくするシロップを飲みます
- 2) のどあるいは鼻にゼリー状の麻酔薬あるいはスプレーで麻酔をします
- 3) 必要に応じて胃の動きを止める注射や、鎮静剤を使用することがあります
- 4) ベッドに横になり、内視鏡を口あるいは鼻から挿入し観察します
- 5) 必要に応じて小さな粘膜組織を採取（生検）して顕微鏡検査（病理組織検査）を行います
- 6) 検査終了後約 1 時間（生検時は約 2 時間）より、水分や食事を摂ることができます

合併症について

内視鏡検査にはまれですが、以下のような合併症が起こる場合があります

- 1) 内視鏡がこすれてできる傷からのわずかな出血
- 2) 生検による出血
- 3) 前処置の薬剤によるアレルギー（発疹、血圧低下など）
- 4) 治療中の病気（脳梗塞、心臓病など）の悪化

以上の症状が起きたときは速やかに処置いたします

問診

- 1) 緑内障、心臓病、前立腺肥大症、甲状腺機能亢進症、糖尿病にかかっていますか はい いいえ
- 2) 体内心臓ペースメーカー埋込型除細動器（ICD）はありますか はい いいえ
- 3) 薬にアレルギーはありますか はい いいえ 内容_____
- 4) 血液を固まりにくくする薬を服用していますか はい いいえ 内容_____
- 5) 胃薬を服用していますか はい いいえ 内容_____
- 6) ピロリ菌検査を受けたことがありますか はい いいえ 検査時期・結果等_____

説明医師 金野 陽高

- 検査を受けることに同意します
 検査を受けることに同意しません

令和 年 月 日

患者様または代理人（続柄 _____） 署名 _____

緊急連絡先：氏名 _____（続柄 _____） 電話番号 _____

※ 必要時には上記に緊急連絡先を記入